

昭和初期の香り漂う県庁舎別館。
近代における山梨ゆかりの人物の
功績などを紹介しています。



旧知事室

残された当時の家具類
や写真などから、創建
時の知事室の内装を
復元しました。
昭和初期の香りを感じ
てください。



県政歴史展示室

昭和初期の知事応接室です。当時の雰
囲気を感じられる空間としました。
中央のモニターで県政の歴史などをご覧
いただけます。



3階 正庁

県庁内の特別な行
事を行う場所です。
残された写真から
当時の姿に復元し
ました。
年間10回程度講座
等も開催します。



人物紹介室

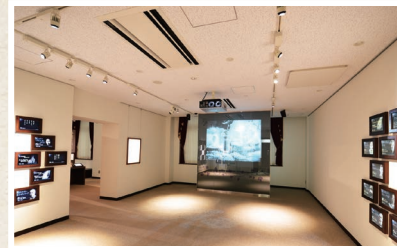
テーマに沿って9人の
人物を詳しく紹介しま
す。中央では、近代化の
象徴である中央線笹子
トンネルの歴史を映像
で紹介しています。



子ども向けコンテンツ

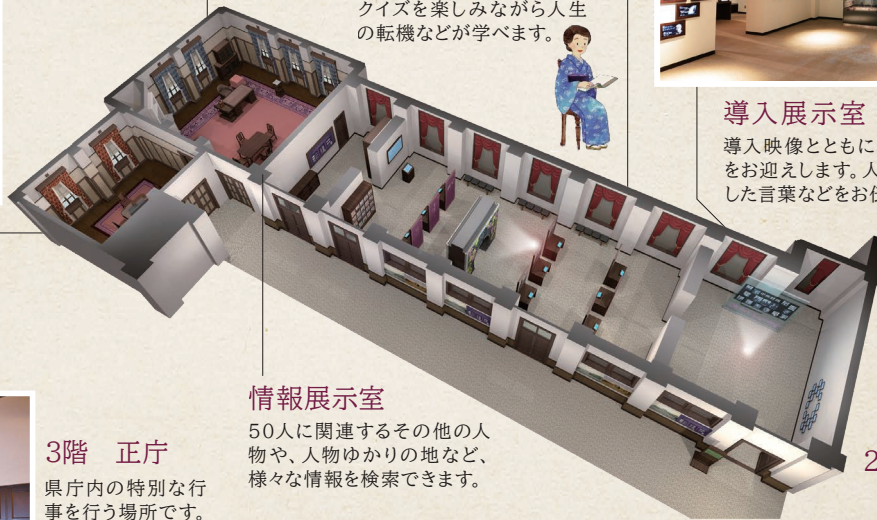
「ふるさと人物伝」

キャラクターとなった人物の
クイズを楽しみながら人生
の転機などが学べます。



導入展示室

導入映像とともに50人の人物が皆さま
をお迎えます。人物の功績や人物が残
した言葉などをお伝えしています。



情報展示室

50人に関連するその他の人
物や、人物ゆかりの地など、
様々な情報を検索できます。

2階展示施設

Information

開館時間／午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)

休館日／毎月第2・第4火曜日 12月29日~1月3日

その他展示替え等により臨時に休館する場合があります

入館料／無料

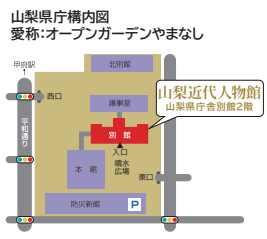
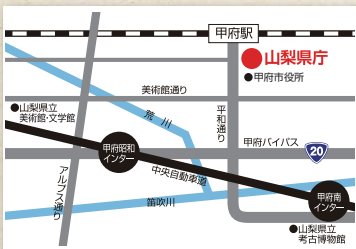
山梨近代人物館

The Museum of
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階

TEL.055-231-0988 FAX.055-231-0991

<http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>



防災新館地下駐車場をご利用ください。(駐車無料)

第7回展示

2018年4月1日(日)~9月27日(木)

県庁舎別館展示施設

山梨近代人物館

創建時の姿によみがえった県庁舎別館において、
近代山梨の発展に貢献した人物や県政のあゆみについて紹介しています。



山梨近代人物館は、概ね明治時代から戦前までの間、農林業、政治・経済、国際交流、教育、芸術、学術など幅広い分野で活躍した人物の中から50人を選定し、この中から毎年2回ずつテーマに沿って9人の人物を紹介しています。

第7回展示 「明治を彩った山梨の人々」



明治から150年。日本の近代国家としての歩み出しは、文明を開き、産業を興すことを目標に掲げ、精力的に新たなことに取り組んでいくものであった。山梨県でも様々な「近代化」が進められ、そして製糸業やワイン醸造など、地域の個性を活かした産業を興していった。明治の人々は、新たな挑戦を繰り返し、私たちの地域と歴史に多くの彩りを加えている。



たかの まさなり
高野 正誠

(甲州市 1852~1923)

土屋とともにフランスへ渡りワイン醸造技術を習得。帰国後山梨県の葡萄栽培、ワイン醸造の発展に尽力。技術書『葡萄三説』を著してその普及に努めた。



つちや りゅうけん
土屋 龍憲

(甲州市 1859~1940)

高野とともに我が国最初のワイン醸造技術の調査のためにフランスへ留学。様々な技術を持ち帰り、山梨県の葡萄栽培やワイン醸造の基礎を築いた。



ないとう ます
内藤 満寿

(甲府市 1823~1901)

内藤伝右衛門の養母。女性向けの「をとめ新聞」の刊行に関わり、女学塾や女紅場を設けるなど、山梨県の女性教育のさががけとなった。



ないとう でんえもん
内藤 伝右衛門

(山梨市 1844~1906)

山梨県最初の新聞「映中新聞」（現在の山梨日日新聞）の創始者。印刷・出版業で活躍し、多くの国内外の書籍を山梨に紹介した。



ふじむら しろう
藤村 紫朗

(熊本県 1845~1909)

第5代山梨県知事。産業の改良、学校・道路の整備を進め、山梨県の近代化に貢献。小学校など当時の擬洋風建築は、彼の名に因み「藤村式建築」と称された。



すぎうら ゆずる
杉浦 譲

(甲府市 1835~1877)

甲府勤番出身で、維新後に日本の近代郵便事業をスタートさせた。富岡製糸場の整備に尽力するなど、日本の通信や産業の近代化に大きく貢献した。



ながみね ひでき
永峯 秀樹

(北杜市 1848~1927)

「アラビアンナイト」の紹介で知られる翻訳家。さまざまな海外の思想や文学の文献を訳し、近代日本の西洋文化の受容を推進した。



とみおか けいめい
富岡 敬明

(佐賀県 1822~1909)

山梨県参事として、土肥・藤村両県令を補佐。大小切騒動の收拾や日野春開拓などの勸業政策を推進した。熊本県令を歴任後、山梨に戻り漢詩壇で活躍した。



つかもと さだえもん
塚本 定右衛門

(滋賀県 1861~1948)

1907（明治40）年の大水害で大きな被害を受けた山梨県に植林復興事業費を寄贈した。これを元に植林された山林は「塚本山」と名付けられている。